

岡山県の認知症施策について

岡山県の認知症施策について

1 早期診断等を行う医療機関の整備

(1) 岡山県認知症疾患医療センター運営事業

地域において認知症に対して進行予防から地域生活の維持まで必要な医療を提供できる機能体制の構築を図るため、認知症にかかる医療や介護・福祉との連携に中核的な役割を果たす認知症疾患医療センターとして、8病院を指定している。

1) 指定状況

※人口は H30. 10. 1 現在の「毎月流動人口」

二次保健医療圏	65歳以上人口(人)	高齢化率	病院名(所在地)	指定期間
県南東部	255,407	28.2%	岡山大学病院(岡山市北区)	H30.4.1~R3.3.31 (H24.3.28)
			慈圭病院(岡山市南区)	H30.4.1~R3.3.31 (H24.3.28)
			岡山赤十字病院(岡山市北区) ※岡山市が指定	—
県南西部	203,060	29.8%	川崎医科大学附属病院(倉敷市)	H30.4.1~R3.3.31 (H24.3.28)
			倉敷平成病院(倉敷市)	H30.4.1~R3.3.31 (H24.3.28)
			きのこエスポアール病院(笠岡市)	H30.4.1~R3.3.31 (H27.8.1)
高梁・新見	23,938	40.7%	こころの医療たいようの丘 ホスピタル(高梁市)	H30.4.1~R3.3.31 (H25.10.22)
真庭	17,499	39.1%	向陽台病院(真庭市)	H29.8.1~R2.3.31 (H29.8.1)
津山・英田	59,528	33.9%	積善病院(津山市)	H29.4.1~R2.3.31 (H26.11.19)
合計	559,432	30.0%		

2) 指定病院の役割

① 専門的医療機能

- ア 鑑別診断とそれに基づく初期対応
- イ 周辺症状と身体合併症への急性期対応
- ウ 専門医療相談

② 地域連携拠点機能

- ア 認知症疾患医療連携協議会の設置及び運営
- イ 研修会の開催

※センター間の連携体制の確立や医療・介護・福祉間の連携推進などについて検討する認知症疾患医療センター連絡会議を年2回程度開催している。

(2) 認知症疾患医療センター全国研修会

全国の認知症疾患医療センターが一堂に会し、認知症に対する医療やケアの質の向上を図るための研修会の開催を支援する。

- 1) 開催日：令和元年11月24日（日）
- 2) 会場：岡山県医師会館
- 3) 主催者：岡山県認知症疾患医療センター連合会、岡山県医師会、
認知症の人と家族の会岡山県支部、
一般社団法人認知症疾患医療センター全国研修会、岡山県

2 医師等の認知症対応力の向上

(1) 認知症サポート医の養成

認知症患者の診療に習熟し、かかりつけ医に対する助言等の支援を行い、専門医療機関や市町村地域包括支援センター等との連携の推進役となる認知症サポート医を養成する。

- 1) 委託先
 - ①受講者選定・派遣 岡山県医師会
 - ②研修実施主体 国立長寿医療研究センター
- 2) 養成者数（自費参加者を含む）

研修名	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
認知症サポート医養成研修修了者数	29人	26人	31人	16人

※R元年度は12月末までの実績

(2) 認知症サポート医フォローアップ研修

認知症サポート医等に対し、認知症の診断・治療・ケア等に関する研修、症例検討、グループ討議等を行うことにより、地域における認知症の人への支援体制の充実・強化を図るための研修を実施する。

- 1) 委託先 岡山県医師会
- 2) 修了者数

研修名	区分	H29年度	H30年度	R元年度
認知症サポート医 フォローアップ研修	開催回数	1回	2回	2回
	修了者数	38人	62人	75人

(3) かかりつけ医認知症対応力向上研修

高齢者が日頃から受診する診療所等の主治医（かかりつけ医）に対し、適切な認知症診断の知識・技術や家族からの話や悩みを聞く姿勢を身に付けるための研修を実施する。

- 1) 委託先 岡山県医師会
- 2) 修了者数

研修名	区分	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R 元年度
かかりつけ医 認知症対応力向上研修	開催回数	2 回	2 回	2 回	1 回
	修了者数	7 1 人	2 9 人	5 4 人	2 0 人

※R 元年度は 12 月末までの実績

(4) 病院勤務の医療従事者向け認知症対応力向上研修

病院に勤務する医師、看護師等の医療従事者に対し、認知症の人や家族を支えるために必要な基本知識や、医療と介護の連携の重要性、認知症ケアの原則等の知識を身に付けるための研修を実施する。

- 1) 委託先 岡山県医師会
- 2) 修了者数

研修名	区分	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R 元年度
病院勤務の医療従事者向け 認知症対応力向上研修	開催回数	4 回	4 回	4 回	4 回
	修了者数	2 3 9 人	5 2 3 人	2 6 0 人	3 2 8 人

(5) 歯科医師認知症対応力向上研修

高齢者が受診する歯科医師に対し、認知症の人や家族を支えるために必要な基本知識や、医療と介護の連携の重要性等の知識を身に付けるための研修を実施する。

- 1) 委託先 岡山県歯科医師会
- 2) 修了者数

研修名	区分	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R 元年度
歯科医師 認知症対応力向上研修	開催回数	1 回	1 回	1 回	1 回
	修了者数	8 2 人	1 2 1 人	7 8 人	

※R 元年度は 2/1 開催予定

(6) 薬剤師認知症対応力向上研修

高齢者が受診した際や受診後等に接する薬局・薬剤師に対し、認知症の人や家族を支えるために必要な基本知識や、医療と介護の連携の重要性等の知識を身に付けるための研修を実施する。

- 1) 委託先 岡山県薬剤師会
- 2) 修了者数

研修名	区分	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R 元年度
薬剤師 認知症対応力向上研修	開催回数	1 回	1 回	2 回	2 回
	修了者数	2 0 1 人	2 0 3 人	2 0 5 人	3 2 4 人

(7) 看護職員認知症対応力向上研修

認知症の人と接する機会が多い看護職員に対し、入院から退院までのプロセスに沿った必要な基本知識や、個々の認知症の特徴等に対する実践的な対応力を身に付けるための研修を実施する。

- 1) 委託先 岡山県看護協会
- 2) 修了者数

研修名	区分	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
看護職員 認知症対応力向上研修	開催回数	1回	2回	1回	2回
	修了者数	65人	128人	94人	142人

3 認知症ケアに携わる介護人材の育成

(1) 認知症介護基礎研修

新任の介護職員等に対し、認知症介護に関する基礎的な知識及び技術を身に付けるための研修を実施する。

- 1) 委託先 岡山県社会福祉協議会
- 2) 定員 300人(100人×3回)
- 3) 修了者数

研修名	区分	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
認知症介護基礎研修	開催回数	2回	3回	3回	3回
	修了者数	189人	222人	225人	150人

(2) 認知症介護実践研修

高齢者介護実務者に対し、認知症介護に関する実践的な知識及び技術を身に付けるための研修を実施する。

- 1) 実施方法 県が指定する法人が実施
 - ①実践者研修 … 岡山県社会福祉協議会、岡山市ふれあい公社
岡山県老人保健施設協会
 - ②リーダー研修 … 岡山県老人保健施設協会、岡山市ふれあい公社
【休止中】全国老人福祉施設協議会、新生寿会

- 2) 修了者数

研修名	区分	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
認知症介護実践者研修	開催回数	13回	13回	9回	7回
	修了者数	697人	533人	520人	357人
認知症介護実践リーダー研修	開催回数	3回	3回	2回	1回
	修了者数	99人	98人	83人	33人

※R元年度は12月末までの実績

(3) 認知症対応型サービス事業管理者等養成研修

認知症高齢者グループホームの管理者や開設者、小規模多機能型居宅介護事業所の計画作成担当者等に対して、認知症介護の質の向上を図るための研修を実施する。

- 1) 委託先 岡山県社会福祉協議会
 2) 定員 ①開設者研修 20人×1回
 ②管理者研修 45人×3回
 ③計画作成担当者研修 40人×1回

3) 修了者数

研修名	開催回数	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
認知症対応型サービス事業開設者研修修了者数	年1回	11人	17人	11人	9人
認知症対応型サービス事業管理者研修修了者数	年3回	112人	99人	115人	75人
小規模多機能型サービス等計画作成担当者研修修了者数	年1回	44人	35人	34人	28人

※管理者研修のR元年度は12月末までの実績

(4) 認知症介護指導者養成研修

認知症介護に関する専門的な知識・技術を有し、認知症介護実践研修を企画・立案し、講義、演習、実習を担当することができ、また、介護保険施設・事業者等における介護の質の改善について指導できる認知症介護指導者を養成する。また、そのフォローアップ研修を実施する。

研修名	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
認知症介護指導者養成研修修了者数	1人	1人	1人	0人
認知症介護指導者フォローアップ研修修了者数	2人	1人	2人	1人

※フォローアップ研修のR元年度は12月末までの実績

4 家族支援・啓発

(1) 認知症サポーター等の養成

市町村における認知症サポーターの養成を支援するため、認知症サポーター養成講座で講師を務めるキャラバン・メイトを養成する。

また、市町村と協働して、認知症について正しく理解し、認知症の人やその家族を温かく見守る応援者（認知症サポーター）を養成する講座を開催する。

【岡山県全体の養成数（各年度末時点の累計養成数）】

種別	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
キャラバン・メイト数	2,428人	2,709人	2,868人	2,918人
認知症サポーター数	136,336人	157,031人	175,026人	182,361人

※R元年度は9月末までの実績

※キャラバン・メイト養成研修…年1回開催、68人修了（令和元年度実績）

(2) 認知症高齢者・家族交流会の開催

認知症サポート医等の認知症理解についての講演、介護の体験談の発表、グループワーク等を通じて、介護経験者と介護に不安を持つ介護家族及び認知症高齢者本人等の交流会を実施する。

- 1) 委託先 認知症の人と家族の会岡山県支部
- 2) R元年度実績 各県民局管内1回 計3回実施

(3) 認知症コールセンターの運営

認知症の人やその家族が悩みやストレスを抱え込んでしまうことがないように、岡山市と共同で社会福祉士や介護支援専門員等の専門職が対応する「おかやま認知症コールセンター」を設置している。

- 1) 電話番号等 086-801-4165 (晴れて一番 よい老後)
月曜日～金曜日 10:00～16:00
- 2) 委託先 認知症の人と家族の会岡山県支部
- 3) 相談件数

年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
相談件数	452件	481件	525件	305件

※R元年度は12月末までの実績

(4) 本人ミーティングの開催

県下の認知症当事者が集い、当事者同士が主となって、自らの体験や希望、必要としていることを素直に語り合い、自分たちのこれからのよりよい暮らし、暮らしやすい地域のあり方を一緒に話し合う機会を設ける。認知症の人と家族の会岡山県支部に委託して実施する。

(5) VRシステムによる認知症の普及啓発

VR（仮想現実）機材を活用し、座学だけではなかなか実感がわからない認知症の中核症状等を疑似体験することを通じて、認知症に対する正しい理解を深め、認知症の方や介護家族等への適切な対応方法をグループワークで考える出前研修会を実施する。

- 1) 主な研修対象者 (R元)
医療・介護サービス施設等の管理者、介護家族、市町村及び地域包括支援センター職員等
- 2) 研修受講者数

年度	H30年度	R元年度
研修受講者数	592人	570人

※R元年度は12月末までの実績

5 地域支援体制の構築

(1) 岡山県認知症対策連携会議の設置

行政と医療・介護・福祉等の関係者が連携し、県内における総合的な認知症対策を円滑に推進するための検討を行う組織として設置する。

(2) 市町村認知症事業連絡会の開催

認知症の人やその家族を地域で支える体制づくりを推進するため、県内市町村の取組事例の伝達や意見交換など、市町村や地域包括支援センターの職員等を対象とした研修会を開催する。

- 1) 対象 市町村や地域包括支援センターの職員等
- 2) 開催回数 本庁 年1回
各県民局 年1回(計3回)
- 3) 内容 市町村の前年度活動実践報告及び参加市町村間での意見交換

(3) 認知症初期集中支援チーム員研修事業

認知症初期集中支援チームのチーム員等がその活動に必要な知識・技能を身に付けるため、国立長寿医療研究センターが実施する研修の受講を支援することにより、各市町村における支援チームの配置を推進するとともに、支援チームの質の確保・向上を図る。

研修名	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
認知症初期集中支援チーム員研修 修了者数	38人	49人	37人	38人

(4) 認知症地域支援推進員研修事業

認知症地域支援推進員等がその活動に必要な知識・技術を身に付けるため、認知症介護研究・研修東京センターが実施する研修の受講を支援することにより、各市町村における推進員の配置を推進するとともに、推進員の質の確保・向上を図る。

研修名	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
認知症地域支援推進員研修修了者数	23人	49人	36人	51人

(5) 認知症ケアに係る医療連携体制整備事業

認知症ケアパスや認知症地域連携パス等の作成やその運用体制の構築に係る経費、認知症ケアパス等を周知・普及させるための研修会の実施に係る経費を補助する。

- 1) 実施主体 市町村、郡市等医師会、認知症疾患医療センター
- 2) 令和元年度実施団体 7団体(津山市、井原市、高梁市、児島医師会、
新見医師会、和気医師会、御津医師会)

6 若年性認知症の人への支援

(1) おかやま若年性認知症支援センター

若年性認知症の人とその家族等を対象とした電話相談窓口として「おかやま若年性認知症支援センター」を平成28年10月17日に開設した。

1) 運営者

認知症の人と家族の会岡山県支部に委託して実施

若年性認知症支援コーディネーターを2名配置して対応

※若年性認知症支援コーディネーターは、新オレンジプランにおいて、各都道府県に配置することとされている若年性認知症の人の自立支援に係わる関係者ネットワークの調整役

2) 主な業務

(ア) 電話相談

①電話番号 086-436-7830

②相談日・時間 月曜日から金曜日の10時から16時
※祝祭日、8/13~15、12/29~1/3を除く。

③相談体制等

保健師、社会福祉士、臨床心理士等の専門職が相談員として電話相談に対応し、必要に応じて適宜面談等を実施する。

④相談内容 受診、治療、就労、社会参加、介護サービス等

(イ) 個別ケア会議

(ウ) 医療、介護、福祉、就労等の総合的な支援に向けた関係団体等によるネットワーク会議の開催

(エ) 市町村職員、医療関係者等への研修会開催など普及・啓発活動

3) 活動報告

(ア) 電話相談集計報告

年度	H29年度	H30年度	R元年度
相談日数	142日	140日	179日
相談件数	22件(延)	32件(延)	16件(延)

※R元年度は12月末までの実績

(イ) 研修会開催

平成28年度：6回開催（若年性認知症理解・対応研修会と個別相談会を同時開催）

平成29年度：2回開催（若年性認知症理解・対応研修会と個別相談会を同時開催）

平成30年度～：若年性認知症理解・対応ミニ研修会として開催中

(2) 若年性認知症の人と家族の集い

平成27年度から認知症の人と家族の会岡山県支部が実施していた集いを平成28年度から県の委託事業として実施している（年6回開催）。

<令和元年度実績及び開催予定>

若年性認知症の人と家族のつどい（ひまわりの会）

①日	時：平成31年4月27日（土）13:00～15:00		
	場 所：くらしき健康福祉プラザ		
	内 容：本人交流会：ゲームを楽しもう	7人参加	
	家族交流会：座談会～何でも話そう！何でも聴こう！～	6人参加	
②日	時：令和元年7月27日（土）13:00～15:00		
	場 所：くらしき健康福祉プラザ		
	内 容：本人交流会：現代アートに挑戦しよう	6人参加	
	家族交流会：座談会～何でも話そう！何でも聴こう！～	6人参加	
③日	時：令和元年9月14日（土）13:00～15:00		
	場 所：倉敷市内		
	内 容：本人交流会：歌って昔を思い出そう	6人参加	
	家族交流会：座談会～何でも話そう！何でも聴こう！～	5人参加	
④日	時：令和元年11月16日（土）13:00～15:00		
	場 所：岡山市立市民病院多目的ホール		
	内 容：本人交流会：コーヒーを飲んで、昭和の音楽を聴こう！	8人参加	
	家族交流会：座談会～何でも話そう！何でも聴こう！～	7人参加	
⑤日	時：令和2年1月25日（土）13:00～15:00		
	場 所：くらしき健康福祉プラザ		
	内 容：本人交流会：絵手紙を書こう		
	家族交流会：座談会～何でも話そう！何でも聴こう！～		
⑥日	時：令和2年3月14日（土）13:00～15:00		
	場 所：岡山市立市民病院多目的ホール		
	内 容：本人交流会：歌とおしゃべり		
	家族交流会：座談会～何でも話そう！何でも聴こう！		

7 認知症高齢者の見守り・行方不明者対策

(1) 広域ネットワークの運営

徘徊等により行方不明となった認知症高齢者の早期発見・保護等を行うため、市町村で運営されている徘徊・見守りネットワーク等の効率的な連携を図るために運営。

※ネットワークの利用状況（H30.6.1～R元.5.31）

- ・行方不明発生通報件数 80件
- ・うち広域ネットワークへの検索依頼件数 7件

(2) 協力事業者の登録

認知症高齢者の行方不明時の検索等に協力してもらえる県内の広域交通関係事業者等を登録し、市町村に提供。

※協力事業所 30事業所（R元.12.31現在）

8 成年後見制度の利用促進

認知症高齢者の増加などにより、成年後見制度の利用が必要となる人の大幅な増加が見込まれる中、安心して当該制度を利用できるようにするための対策が必要となっていることから、平成28年5月に成年後見制度の利用の促進に関する法律が施行された。

全国どの地域に住んでいても成年後見制度の利用が必要な人が制度を利用できるよう、国、県、市町村が連携を図りながら、成年後見制度の利用の促進に関する施策を進めることとしている。

(1) 市町村の役割

- 1) 成年後見制度利用促進基本計画（市町村計画）の策定
 - ・成年後見制度の利用の促進に関する施策についての基本的な計画であり、国の基本計画を勘案し策定
- 2) 地域連携ネットワークの整備
 - ・保健、医療、福祉及び司法も含めた連携の構築
 - ・広報機能、相談機能、成年後見制度利用促進機能、後見人支援機能の4つの機能を確保
- 3) 中核機関の設置
 - ・地域連携ネットワークの円滑な運営を担う中核的な機関

(2) 県の役割

- 1) 市町村の区域を越えた広域的な見地から、後見人となる人材の育成
 - ・市民後見人養成講座の実施
- 2) 県全体の施策の推進や国との連携確保
 - ・県下の地域連携ネットワーク、中核機関の整備・取組状況の把握
 - ・広域での中核機関の設置・運営について市町村との調整

(3) 国の役割

- 1) 成年後見制度利用促進基本計画（国計画）の策定（H29.3.24閣議決定）
 - ・成年後見制度利用促進策の最も基本的な計画
- 2) 県・市町村からの相談対応
- 3) 全国の取組状況の把握
 - ・地域における取組状況の格差について継続的な確認、必要な支援策の検討

市町村別認知症施策の取組状況について

※初期集中支援チーム、地域支援推進員はH31.4.1現在

※SOSネットワークはR元.5.31時点

H31.3月末

圏域	市町村	疾患 医療 センター	サポート医	かかりつけ 医研修終了 者	初期集中支援チーム		地域支援推進員		認知症 カフェ	SOS ネット ワーク
					設置	チーム数	設置	推進員		
県南東部	岡山市	3	78	755	○	1	○	10	28	○
	玉野市		5	33	○	2	○	4	3	
	備前市		5	16	○	1	○	2	3	○
	瀬戸内市		5	21	○	1	○	3	2	○
	赤磐市		4	20	○	1	○	1	5	○
	和気町		3	10	○	1	○	4	2	○
	吉備中央町		2	12	○	1	○	2	4	○
計		3	102	867	7	8	7	26	47	6
県南西部	倉敷市	2	39	423	○	4	○	2	17	○
	笠岡市	1	5	11	○	1	○	9	4	○
	井原市		1	14	○	1	○	4	3	○
	総社市		6	31	○	1	○	1	12	○
	浅口市		5	19	○	1	○	2	4	○
	早島町		4	7	○	1	○	1	1	○
	里庄町		2	4	○	1	○	1	1	
矢掛町		5	11	○	1	○	2	1	○	
計		3	67	520	8	11	8	22	43	7
高梁・新見	高梁市	1	3	30	○	1	○	3	8	○
	新見市		3	16	○	3	○	2	3	○
計		1	6	46	2	4	2	5	11	2
真庭	真庭市	1	8	53	○	1	○	1	5	○
	新庄村		0	1	○	1	○	1		○
計		1	8	54	2	2	2	2	5	2
津山・英田	津山市	1	7	170	○	1	○	2	5	○
	美作市		3	31	○	1	○	1	1	○
	鏡野町		2	13	○	1	○	2	2	○
	勝央町		1	16	○	1	○	1		○
	奈義町		1	7	○	1	○	1		○
	西粟倉村		1	0	○	1	○	1		○
	久米南町		0	1	○	1	○	4	1	○
美咲町		1	6	○	1	○	3	3	○	
計		1	16	244	8	8	8	15	12	8
合計		9	199	1,733	27	33	27	70	118	25